

数量総括表

(吉田屋橋)

	工種		規格・寸法		単位	数量	備考
塗装塗替え工	素地調整		3種ケレンA		m ²	60.2	
	脱脂洗浄工		Deck脱脂洗浄剤		〃	60.2	見積り
	塗装下地		Deckプライマー		〃	60.2	〃
	下塗り塗装		Deck下塗		〃	60.2	〃
	上塗り塗装		Deck上塗		〃	60.2	見積り：赤系
	運搬工		塗膜かす運搬工		kg	1	
	発生材処分工		特別管理産業廃棄物		〃	1	
	仮設設備工		環境・安全衛生対策工		式	1	
横桁ボルト設置工	購入材料		HTB M22×60 (F10T)		本	1	
	高力ボルト本締め工				〃	1	
コンクリート補修工	ひびわれ注入工		延長		m	22.7	
			注入材	エポキシ樹脂1種	kg	0.25	
			シール材		〃	3.47	ロス除く
			低圧注入器具	@250mmで計上	個	91	
	断面修復工		ポリマーセメント系	ケレン有	m ³	0.10	ロス除く
				ケレン無	〃	0.01	ロス除く
	殻運搬・処理		コンクリート殻（無筋）	運搬距離L=60km以下	〃	0.11	
	鉄筋工		D10 (SD295)		kg	1	
コンクリート表面保護工	コンクリート表面含浸工		下地処理工		m ²	33.8	
			含浸材塗布工	アクリール1400AR相当品	〃	33.8	材料見積り
水切り工	水切り材		EPDMゴムスポンジ(ウォーターカッター相当品)		m	30.8	見積り
	設置工				〃	30.8	〃
支承部補修工	被覆ゴム表面保護用補修材塗布工		ワゾンラック補修材塗布, HBコートHardタイプ® 相当品		基	2	見積り
					m ³	0.001	〃
			表面保護剤塗布, HBコートSoftタイプ® 相当品		基	2	〃
					m ²	0.060	〃
伸縮目地部補修工	伸縮目地工		ポリブタジエン樹脂系		m	4.0	見積り
					ℓ	3.2	
	プライマー		150mℓ/m2		mℓ	42.0	〃
	バックアップ材		ポリエチレンフォーム		m	4.0	〃
					ℓ	1.6	
	防護柵補修工	塗装塗替え工	素地調整	3種ケレンA	m ²	13.2	
中塗			長油性フタル酸樹脂塗料中塗	〃	13.2	白色	
上塗			長油性フタル酸樹脂塗料上塗	〃	13.2	〃	
ナット設置工		ナット	M20 (1種) (SS400)	個	1		
		ワッシャー	M20 (SS400)	〃	1		
路面補修工	目地工		瀝青質板、t=20mm		m ²	0.040	
	段差擦り付け工		常温合材		t	0.02	(V=0.008m3)
仮設工	吊足場工		パイプ足場、シート張防護工		m ²	35	
			朝顔（両側）、シート張防護工		〃	35	

第 2 章 数量計算

1. 塗装塗替え工

1) 塗装仕様

①素地調整および塗替え塗装仕様

素地調整および塗替え塗装仕様は、下記のとおりとする。

- ・素地調整は、3種ケレンA とする。
- ・塗装は、錆転換防食塗装システム（DeCK（NETIS：QS-210056-A））とする。

塗装系：錆転換防食塗装システム（QS-210056-A）、色彩：赤系、旧塗膜系：A塗装系（推定）

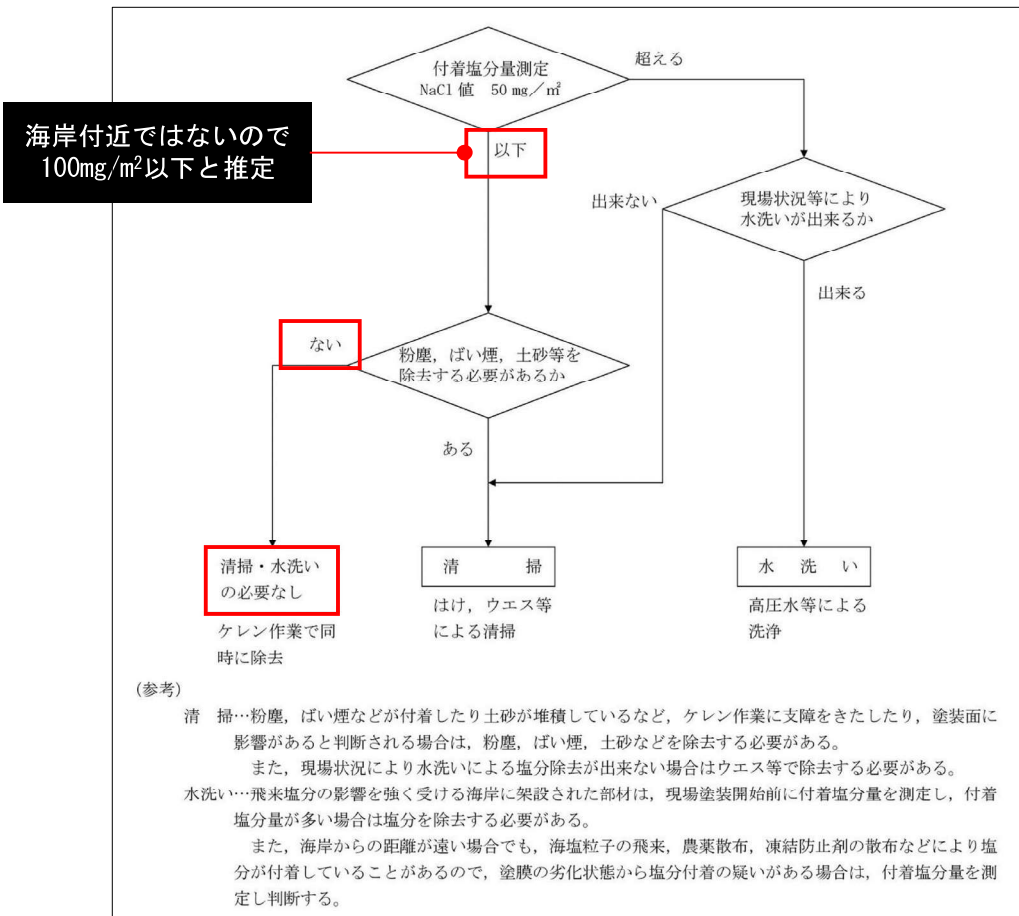
塗装工程	塗料名	使用量(g/m ²)	塗装間隔	塗装方法	膜厚(μm)	備考
素地調整	3種ケレンA	—	—	—	—	
脱脂洗浄	Deck脱脂洗浄剤	50	1日	ハケ・ローラー	—	
塗装下地	Deckプライマー	150		ハケ・ローラー	70	
下塗	Deck下塗り	200	1日	ハケ・ローラー	60	
上塗	Deck上塗り	180	1日	ハケ・ローラー	55	

②色彩

現状と同様の色彩とし、「赤系」とする。

③清掃・水洗いの必要性

下記フローより 必要なし とする。



「令和6年度版 国土交通省 土木工事標準積算基準書(共通編) (社)建設物価調査会 P. VI-1-③-7」より抜粋

④旧塗膜構成

旧塗装の構成は、竣工年（1972(S47)年）及び架橋条件より、A系塗装と推定した。

【標準膜厚】 $t=15+35+35+30+25=140\mu\text{m}$

1) 一般外面の塗装系						
架橋地の環境	工 程	塗 料	標準使用量(g/m ²)	塗り重ね間隔	標準膜厚(μ)	
田園、山間および 都会地の腐食がき びしくない環境 【A系】	工場 塗装	プライマー	エッチングプライマー(長ばく形)	スプレー 130	6h～3ヵ月	15
		下塗第1層	鉛系さび止ペイントI種	＊ 170	2日～30日	35
		下塗第2層	鉛系さび止ペイントI種	＊ 170	2日～6ヵ月	35
	現場 塗装	中 塗	超長油性フタル酸樹脂塗料	ハ ケ 120	1日～15日	30
		上 塗	長油性フタル酸樹脂塗料	＊ 110		25
海上および海岸 【B系】	工場 塗装	プライマー	エッチングプライマー(長ばく形)	スプレー 130	6h～3ヵ月	15
		下塗第1層	鉛系さび止ペイントI種	＊ 170	2日～30日	35
		下塗第2層	鉛系さび止ペイントI種	＊ 170	3日～30日	35
	現場 塗装	中塗第1層	フェノール樹脂系MIO塗料	＊ 300	2日以上	45
		中塗第2層	塩化ゴム系塗料	ハ ケ 170	1日～30日	35
工場地帯および都 会地の腐食のきび しい環境 【C系】	工場 塗装	上 塗	塩化ゴム系塗料	＊ 150		30
		下塗第2層	塩化ゴム系塗料	＊ 250	有機 1日～6ヵ月 無機 2日～6ヵ月	45
		下塗第1層	塩化ゴム系塗料	＊ 250	1日～30日	45
	現場 塗装	中 塗	塩化ゴム系塗料	ハ ケ 170	1日以上	35
		上 塗	塩化ゴム系塗料	＊ 150	1日～30日	30

「デザインデータブック87' (社)日本橋梁建設協会」より抜粋

2) 塗装塗替え工数量総括

項 目	種 別	単位	数量	備 考
素地調整	3種ケレンA	m ²	60.20	
脱脂洗浄工	Deck脱脂洗浄剤	〃	60.20	
塗装下地	Deckプライマー	〃	60.20	
下塗り塗装	Deck下塗	〃	60.20	
上塗り塗装	Deck上塗	〃	60.20	(赤系)
廃材の運搬工		kg	1	全面積の30%(下塗まで除去する面積)を計上
廃材の処分工		〃	1	

3) 数量計算

①塗装面積

名称			寸 法(mm)		面数	員数	面積(m ²)	
			幅	長さ			小計	合計
主 桁	G1	U-Flg(B:200-11=189)	189	15,400	1	1	2.9	26.7
		Web(H:566)	566	15,400	2	1	17.4	
		L-Flg(上側)(B:200-11=189)	189	15,400	1	1	2.9	
		L-Flg(下側)(B:200)	200	15,400	1	1	3.1	
		垂直補剛材(B:90,H:566)	90	566	2	6	0.6	
		横桁控除分(垂直補剛材部)	75	250	1	4	-0.1	
		横桁控除分(ニーブレス部)	75	210	1	2	-0.1	
	G2	U-Flg(B:200-11=189)	189	15,400	1	1	2.9	26.7
		Web(H:566)	566	15,400	2	1	17.4	
		L-Flg(上側)(B:200-11=189)	189	15,400	1	1	2.9	
		L-Flg(下側)(B:200)	200	15,400	1	1	3.1	
		垂直補剛材(B:90,H:566)	90	566	2	6	0.6	
		横桁控除分(垂直補剛材部)	75	250	1	4	-0.1	
		横桁控除分(ニーブレス部)	75	210	1	2	-0.1	
横 桁	端横桁 (溝形鋼)	U-Flg(上側)(B:90,L=1560)	90	1,560	1	2	0.3	2.8
		U-Flg(下側)(B:90-9=81,L=1560)	81	1,560	1	2	0.3	
		Web(H:250,L=1560)	250	1,560	2	2	1.6	
		L-Flg(上側)(B:90-9=81,L=1560)	81	1,560	1	2	0.3	
		L-Flg(下側)(B:90,L=1560)	90	1,560	1	2	0.3	
		ニーブレス(B:(75+175)×1/2=125)	125	210	2	4	0.2	
		横桁控除分(垂直補剛材部)	75	250	1	4	-0.1	
		横桁控除分(ニーブレス部)	75	210	1	4	-0.1	
	中間横桁 (溝形鋼)	U-Flg(上側)(B:90,L=1560)	90	1,560	1	2	0.3	2.7
		U-Flg(下側)(B:90-9=81,L=1560)	81	1,560	1	2	0.3	
		Web(H:250,L=1560)	250	1,560	2	2	1.6	
		L-Flg(上側)(B:90-9=81,L=1560)	81	1,560	1	2	0.3	
		L-Flg(下側)(B:90,L=1560)	90	1,560	1	2	0.3	
		横桁控除分(垂直補剛材部)	75	250	1	4	-0.1	
支承部	アンカーボルト・ナット M24	0.003		1	8	0.1	0.1	
	(A=6.17m2/1000セ ッ ト×1/2×1/1000=0.003m2)							
排水管他	SGP100A(上流側)	φ 114	800	1	2	0.6	1.2	
	SGP100A(下流側)	φ 114	800	1	2	0.6		
合計								60.2

②運搬工、発生材処分工

本橋の旧塗膜には鉛が含まれており、特別産業廃棄物になるため、処分量を計上する。計上する数量は、素地調整が3種ケレンAであることから全面積の30%（下塗まで除去する面積）とした。

塗膜かす分：
$$\frac{60.2}{\text{m}^2} \times \frac{140}{\text{A系塗装標準膜厚}} \times 10^{-6} \times \frac{0.35}{\text{廃プラ (t/m}^3\text{)}} \times 1000 \times \frac{0.30}{\text{3種A}} = \frac{1 \text{ kg}}{\Sigma = 1 \text{ kg}}$$

【塗膜くずの処分判定フローおよび該当種類】

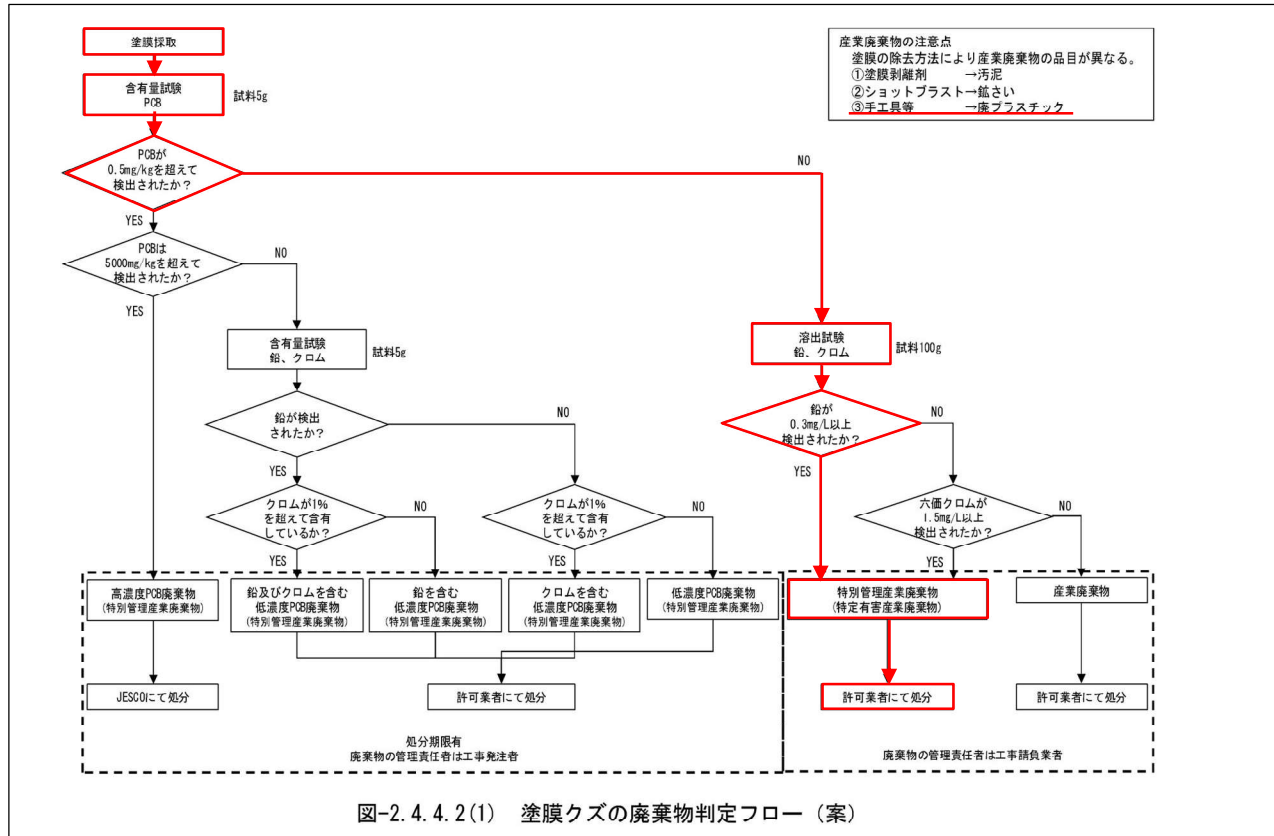


図-2.4.4.2(1) 塗膜くずの廃棄物判定フロー（案）

「インフラメンテナンス研究委員会報告書 第2編 橋梁分科会 補修・補強WG(R3.10) (社)建設コンサルタツツ協会近畿支部 P.40」より抜粋

(別添2) 産業廃棄物の体積から重量への換算係数(参考値)

産業廃棄物の種類	換算係数
1 燃え殻	1.14
2 汚泥	1.10
3 廃油	0.90
4 廃酸	1.25
5 廃アルカリ	1.13
6 廃プラスチック	0.35
7 紙くず	0.30
8 木くず	0.55
9 繊維くず	0.12
10 食料品製造業、医薬品製造業又は香料製造業において原料として使用した動物又は植物に係る固形状の不要物	1.00
11 とさつし、又は解体した獣命及び食鳥処理した食鳥に係る固形状の不要物	1.00
12 ゴムくず	0.52
13 金属くず	1.13
14 ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず	1.00
15 鉱さい	1.93
16 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物	1.48
17 動物のふん尿	1.00
18 動物の死体	1.00
19 はいじん	1.26
20 産業廃棄物を処分するために処理したものであって、前各号に掲げる産業廃棄物に該当しないもの	1.00
21 建設混合廃棄物	0.26
22 廃電気機械器具	1.00
23 感染性産業廃棄物	0.30
24 廃石綿等	0.30

【注1】上記の換算係数は1立方メートル当たりのトン数(t/立米)。

【注2】この換算表はあくまでマクロ的な重量を把握するための参考値という位置付けであることを留意されたい。

【注3】特別管理産業廃棄物のうち、感染性産業廃棄物及び廃石綿等以外については、それぞれ1-19に該当する品目の換算係数に準拠。

【注4】「2 t車1台」といったような場合には、積載した廃棄物の体積を推計し、それにより換算係数を掛けることによりトン数を計算する方法がある。

表-Ⅱ.7.12 素地調整程度と作業内容

素地調整程度	さび面積 ^{※1}	塗膜異常面積 ^{※2}	作業内容	作業方法
1種	—	—	さび、旧塗膜を全て除去し鋼材面を露出させる。	ブラスト法
2種	30%以上	—	旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させる。ただし、さび面積30%以下で旧塗膜がB、b塗膜系の場合はジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去する。	ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具と手工具との併用
3種A	15～30%	30%以上	活膜は残すが、それ以外の不良部(さび、割れ、膨れ)は除去する。	同上
3種B	5～15%	15～30%	同上	同上
3種C	5%以下	5～15%	同上	同上
4種	—	5%以下	粉化物、汚れなどを除去する。	同上

※1: さびが発生している場合
※2: さびがなく、割れ、はがれ、膨れ等の塗膜異常がある場合

「産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニュアルの普及について(通知) H18.12 環境省」より抜粋

「鋼道路橋防食便覧 H26.3 日本道路協会 P.Ⅱ-138」より抜粋

【運搬工、発生材処分にに関する留意事項】

4. 剥離剤及び塗膜かす運搬工
剥離剤及び塗膜かす運搬工は足場外の仮置き場に集積した剥離剤及び塗膜かすを積込、処分場まで運搬する作業とし、現場発生品の積込・運搬として計上する。
剥離剤及び塗膜かすの運搬数量は現場環境・施工計画等により発生数量が変動するため、当初から計上することは困難である。
よって、標準質量にて算出した数量から施工完了後の数量にて設計変更対応を行うものとする。
5. 発生材処分（産業廃棄物、有害物質含有廃棄物）
発生材処分費用は現場環境等により処分方法・発生使用数量が変動するため、当初から計上することは困難であることから、施工完了後の数量にて別途計上する。
また、有害物質を含む発生材については、設計図書及び関係法令を遵守して処分する必要があることから、施工完了後の数量にて別途計上する。

「令和6年度版 橋梁架設工事の積算（社）日本建設機械施工協会 P. 4-162」より抜粋

2. 横桁ボルト設置工

1) 購入材料

- ・規格： HTB M22×60 (F10T)

N = 1 = 1 本

2) 高力ボルト本締め工

N = 1 = 1 本

3. コンクリート補修工

1) ひびわれ補修、断面修復工

(1) 算出条件

①ひびわれ注入工数量算出条件

【ひびわれ注入材】

注入材（1種）想定製品：BLグラウト（比重1.1）

ロス率：床版補強工クラック処理を参考とした（ $\alpha=15\%$ ）

※深さは、ひびわれ幅の200倍程度を想定し、W=0.2mmを基準として40mmを想定した。

【シーラ材】

シーラ材想定製品：BLシーラ（比重1.7）

ロス率：構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））より決定した（ $\alpha=37\%$ ）

②ひびわれ充填工数量算出条件

充填材想定製品：フィックスSR・EG（比重1.8）＜ポリマーセメントモルタル＞

ロス率：構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））より決定した（ $\alpha=20\%$ ）

③断面修復工数量算出条件

ロス率：構造物補修工（断面修復工（左官工法））より決定した（ $\alpha=18\%$ ）

(2) 数量

【床版】

※ひびわれ注入工（注入材）以外は、数量にロス率は考慮しない。

部位・損傷			ひびわれ注入工					ひびわれ充填工			断面修復工				箇所数	
			注入材 ・エポキシ樹脂1種			シーラ材		U系カット ・ポリマーセメントモルタル								
			・深さ (仮定値) 40 mm			・幅 (仮定値) 30 mm		・幅 10 mm			・深さ(仮定値) 40 mm (t=30+10)					
			・比重 1.1			・厚さ (仮定値) 3 mm		・深さ 15 mm			・ロス率 0 %					
			・ロス率 15 %			・比重 1.7		・比重 1.8			※1. 鉄筋構造物はケレン有とする。 ※2. 無筋構造物はケレン無とする。					
			幅 (mm)	長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	体積 (m3)	重量 (kg)	深さ (mm)	幅×延長 (m)	体積(m ³) ケレン有 ケレン無			
床版	1	ひびわれ注入	0.20	0.15	0.002	0.15	0.023									n=1
	2	ひびわれ注入	0.20	0.15	0.002	0.15	0.023									n=1
	3	ひびわれ注入	0.20	0.90	0.009	0.90	0.138									n=1
	4	ひびわれ注入	0.20	1.00	0.010	1.00	0.153									n=1
	5	ひびわれ注入	0.20	1.40	0.014	1.40	0.214									n=1
	6	ひびわれ注入	0.20	0.80	0.008	0.80	0.122									n=1
	7	ひびわれ注入	0.20	1.00	0.010	1.00	0.153									n=1
	8	ひびわれ注入	0.20	0.90	0.009	0.90	0.138									n=1
	9	ひびわれ注入	0.20	0.80	0.008	0.80	0.122									n=1
	10	ひびわれ注入	0.20	1.20	0.012	1.20	0.184									n=1
	11	ひびわれ注入	0.20	1.40	0.014	1.40	0.214									n=1
	12	ひびわれ注入	0.20	0.30	0.003	0.30	0.046									n=1
	13	ひびわれ注入	0.20	0.30	0.003	0.30	0.046									n=1
	14	ひびわれ注入	0.20	1.40	0.014	1.40	0.214									n=1
	15	ひびわれ注入	0.20	0.30	0.003	0.30	0.046									n=1
	16	ひびわれ注入	0.20	0.50	0.005	0.50	0.077									n=1
	17	ひびわれ注入	0.20	1.40	0.014	1.40	0.214									n=1
	18	ひびわれ注入	0.20	1.40	0.014	1.40	0.214									n=1
	19	ひびわれ注入	0.20	1.40	0.014	1.40	0.214									n=1
	20	ひびわれ注入	0.20	1.40	0.014	1.40	0.214									n=1
	21	ひびわれ注入	0.20	1.40	0.014	1.40	0.214									n=1
	22	ひびわれ注入	0.20	0.80	0.008	0.80	0.122									n=1
	23	ひびわれ注入	0.20	0.80	0.008	0.80	0.122									n=1
	24	ひびわれ注入	0.20	0.15	0.002	0.15	0.023									n=1
	25	ひびわれ注入	0.20	0.15	0.002	0.15	0.023									n=1
小計			—	21.40	0.216	—	3.273	0.00	0.0000	0.000	—	—	0.0000	0.0000	—	

【床版】

※ひびわれ注入工（注入材）以外は、数量にロス率は考慮しない。

部位・損傷			ひびわれ注入工					ひびわれ充填工			断面修復工				箇所数	
			注入材 ・エポキシ樹脂1種			シーリング材		U系カット ・ポリマーセメントモルタル								
			・深さ (仮定値) 40 mm			・幅 (仮定値) 30 mm		・幅 10 mm			・深さ(仮定値) 40 mm (t=30+10)					
			・比重 1.1			・厚さ (仮定値) 3 mm		・深さ 15 mm			・ロス率 0 %					
			・ロス率 15 %			・比重 1.7		・比重 1.8			※1. 鉄筋構造物はケレン有とする。 ※2. 無筋構造物はケレン無とする。					
幅 (mm)			長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	体積 (m3)	重量 (kg)	深さ (mm)	幅×延長 (m)		体積(m³) ケレン有 ケレン無			
床版	1	鉄筋露出									40	1.00	× 0.20	0.0160		n=2
	2	鉄筋露出									40	2.00	× 0.20	0.0320		n=2
	3	鉄筋露出									40	0.05	× 0.05	0.0001		n=1
	4	鉄筋露出									40	0.05	× 0.05	0.0001		n=1
	5	鉄筋露出									40	1.30	× 0.20	0.0104		n=1
	6	鉄筋露出									40	1.30	× 0.15	0.0078		n=1
	7	鉄筋露出									40	0.05	× 0.05	0.0001		n=1
	8	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	9	鉄筋露出									40	0.10	× 0.10	0.0004		n=1
	10	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	11	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	12	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	13	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	14	鉄筋露出									40	0.05	× 0.05	0.0001		n=1
	15	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	16	鉄筋露出									40	0.05	× 0.05	0.0001		n=1
	17	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	18	うき									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	19	鉄筋露出									40	0.10	× 0.10	0.0004		n=1
	20	鉄筋露出									40	0.05	× 0.05	0.0001		n=1
	21	鉄筋露出									40	0.05	× 0.05	0.0001		n=1
	22	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	23	うき									40	0.40	× 0.15	0.0024		n=1
	24	鉄筋露出									40	0.50	× 0.15	0.0030		n=1
	25	鉄筋露出									40	0.50	× 0.50	0.0100		n=1
	26	うき									40	0.30	× 0.10	0.0012		n=1
	27	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	28	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	29	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	30	欠損									40	0.30	× 0.15	0.0018		n=1
	31	鉄筋露出									40	0.15	× 0.15	0.0009		n=1
	32	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	33	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	34	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	35	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	36	鉄筋露出									40	0.05	× 0.15	0.0003		n=1
	37	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	38	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	39	鉄筋露出									40	0.05	× 0.05	0.0001		n=1
	40	鉄筋露出									40	0.05	× 0.10	0.0002		n=1
	41	鉄筋露出									40	0.10	× 0.10	0.0004		n=1
	42	鉄筋露出									40	0.15	× 0.15	0.0009		n=1
	43	鉄筋露出									40	0.15	× 0.15	0.0009		n=1
	44	鉄筋露出									40	0.60	× 0.20	0.0048		n=1
	45	鉄筋露出									40	0.15	× 0.20	0.0012		n=1
小計			—	0.00	0.000	—	0.000	0.00	0.0000	0.000	—	—		0.1002	0.0000	—
合計			—	21.40	0.216	—	3.273	0.00	0.0000	0.000	—	—		0.1002	0.0000	—

【防護柵支柱下端】

※ひびわれ注入工（注入材）以外は、数量にロス率は考慮しない。

部位・損傷			ひびわれ注入工					ひびわれ充填工			断面修復工				箇所数		
			注入材 ・エポキシ樹脂1種			シーラ材		U系カット ・ポリマーセメントモルタル									
			・深さ (仮定値) 40 mm			・幅 (仮定値) 30 mm		・幅 10 mm			・深さ(仮定値) 50 mm						
			・比重 1.1			・厚さ (仮定値) 3 mm		・深さ 15 mm			・ロス率 0 %						
			・ロス率 15 %			・比重 1.7		・比重 1.8			※1. 支柱下端のためケレン無とする。 ※2. 支柱部控除 $V = \pi / 4 \times 0.118 \times 0.118 \times 0.020$ =0.0002						
			幅 (mm)			長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	体積 (m3)	重量 (kg)	深さ (mm)	幅×延長 (m)		支柱部 控除 (m ³)	体積 (m ³)
													ケレン無				
防護柵 支柱 下端	46	剥離									50	0.20	×	0.10	0.0002	0.0008	n=1
	47	剥離									50	0.30	×	0.20	0.0002	0.0028	n=1
	48	剥離									50	0.20	×	0.10	0.0002	0.0008	n=1
	49	剥離									50	0.20	×	0.10	0.0002	0.0008	n=1
	50	剥離									50	0.20	×	0.10	0.0002	0.0008	n=1
	51	剥離									50	0.10	×	0.10	0.0002	0.0003	n=1
	52	剥離									50	0.25	×	0.20	0.0002	0.0023	n=1
	53	剥離									50	0.30	×	0.20	0.0002	0.0028	n=1
54	剥離									50	0.20	×	0.20	0.0002	0.0018	n=1	
小計			—	0.00	0.000	—	0.000	0.00	0.0000	0.000	—	—		—	0.0132	—	

【下部工】

※ひびわれ注入工（注入材）以外は、数量にロス率は考慮しない。

部位・損傷			ひびわれ注入工					ひびわれ充填工			断面修復工				箇所数
			注入材 ・エポキシ樹脂1種			シーラ材		U系カット ・ポリマーセメントモルタル			断面修復工				
			・深さ (仮定値)	40 mm	・幅 (仮定値)	30 mm	・幅	10 mm							
			・比重	1.1	・厚さ (仮定値)	3 mm	・深さ	15 mm							
			・ロス率	15 %	・比重	1.7	・比重	1.8							
			・ロス率	0 %	・ロス率	0 %	・ロス率	0 %							
幅 (mm)		長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	体積 (m3)	重量 (kg)	深さ (mm)	幅×延長 (m)	体積(m ³)				
											ケレン有	ケレン無			
A1	26	ひびわれ注入	0.70	0.80	0.028	0.80	0.122							n=1	
A2	27	ひびわれ注入	0.20	0.50	0.005	0.50	0.077							n=1	
合計			—	1.30	0.033	—	0.199	0.00	0.0000	0.000	—	—	0.0000	0.0000	—

【合計】

※ひびわれ注入工（注入材）以外は、数量にロス率は考慮しない。

部位・損傷	ひびわれ注入工					ひびわれ充填工			断面修復工				箇所数
	注入材 ・エポキシ樹脂1種			シール材		U系カット ・ポリマーセメントモルタル							
	幅 (mm)	長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	体積 (m³)	重量 (kg)	深さ (mm)	幅×延長 (m)	体積(m³)		
											ケレン有	ケレン無	
床版	—	21.40	0.216	—	3.273	0.00	0.0000	0.000	—	—	0.1002	0.0000	—
防護柵支柱下端	—	0.00	0.000	—	0.000	0.00	0.0000	0.000	—	—	0.0000	0.0132	—
下部工	—	1.30	0.033	—	0.199	0.00	0.0000	0.000	—	—	0.0000	0.0000	—
合計	—	22.70	0.250	—	3.470	0.00	0.0000	0.000	—	—	0.1000	0.0132	—

【低圧注入器具】

	ひびわれ注入工 総延長(m)	配置間隔 (mm)	低圧注入器具 (個)	備 考
低圧注入器具	22.7	250	91	

【殻運搬・処理】

	体積(m ³)			単位 重量 (t/m ³)	重量 (t)	備 考
	ひびわれ 充填工	断面修復工	合計			
コンクリート殻	0.0000	0.1132	0.113	2.35	0.266	

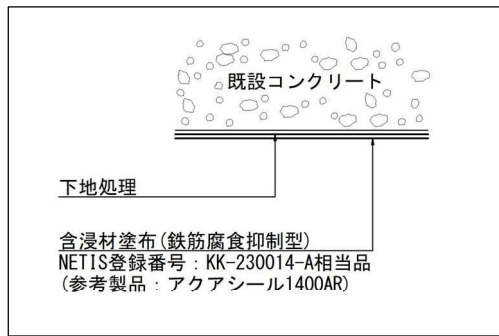
※断面修復工 $V = (0.1000 + 0.0132) / 1.00 = 0.1132 \text{ m}^3$

【鉄筋工】

	延長 (m/箇所)	本数 (1本/箇所)	単位 質量 (kg/m)	質量 (kg)	備 考
防護柵支柱下端	0.20	9	0.560	1.008	D10 (SD295)

4. コンクリート表面保護工

1) 被覆仕様



2) 含浸材塗布量

含浸材はアクアシール1400AR相当品とし、標準塗布量はメーカー提示の 0.23kg/m^2 とする。

3) 数量

$$\begin{array}{rcll} A1 & = & 2.60 \times 15.36 + 2.00 \times 0.04 & = 40.0 \text{ m}^2 \\ \text{主桁控除 } A2 & = & -0.20 \times 15.40 \times 2 & = -6.2 \text{ //} \\ \hline \Sigma & = & & 33.8 \text{ m}^2 \end{array}$$

5. 水切り工

1) 材料 : EPDMゴムスポンジ+エポキシ樹脂系接着剤 (ウォーターカッター相当品)

$$L = 15.4 + 15.4 = 30.8 \text{ m}$$

2) 設置工 : エポキシ樹脂系接着剤塗布+EPDMゴムスポンジ設置

$$L = 15.4 + 15.4 = 30.8 \text{ m}$$

6. ゴム支承補修工

1) 補修工法

被覆ゴム表面保護用補修材（HBコート）塗布工

2) 数量

(1) オゾンクラック補修材塗布

・規格：HBコートHardタイプ相当品

$$\begin{aligned} N &= 2 & = 2 \text{ 基} \\ V &= (0.200 + 0.200) \times 2 \times 0.040 \times \frac{0.010}{\text{想定深さ}} \times 2 & = 0.001 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

(2) 表面保護剤塗布

・規格：HBコートSoftタイプ相当品

$$\begin{aligned} N &= 2 & = 2 \text{ 基} \\ A &= (0.200 + 0.200) \times 2 \times 0.040 \times 2 & = 0.06 \text{ m}^2 \\ & & (0.03 \text{ m}^2/\text{基}) \end{aligned}$$

7. 伸縮目地部補修工

(1) 参考製品

SMジョイントI型 相当

(2) 数量

①伸縮目地工

<A1、A2部>

・規格 : ポリブタジエン樹脂系 (材料比重 : 1.110) 、施工幅 20mm、施工厚 35mm

$$L1 = 2.000 = 2.00 \text{ m}$$

$$V1 = 2.000 \times 0.020 \times 0.035 \times 1.11 \times 1000 = 1.6 \text{ ㏔/箇所}$$

【全箇所当たり数量】

$$L = 2.00 \times 2 = 4.0 \text{ m}$$

$$V = 1.6 \times 2 = 3.2 \text{ ㏔}$$

②プライマー

・規格 : 150m㏔/㎡

<A1、A2部>

$$V1 = 0.035 \times 2.000 \times 2 \times 150 = 21.0 \text{ m㏔/箇所}$$

【全箇所当たり数量】

$$V = 21.0 \times 2 = 42.0 \text{ m㏔}$$

③バックアップ材

・規格 : ポリエチレンフォーム

<A1、A2部>

$$L1 = 2.000 = 2.00 \text{ m/箇所}$$

$$V1 = 2.000 \times 0.020 \times 0.020 \times \frac{1,000}{\text{単質(㏔/㎡)}} = 0.80 \text{ ㏔/箇所}$$

【全箇所当たり数量】

$$L = 2.00 \times 2 = 4.0 \text{ m}$$

$$V = 0.80 \times 2 = 1.6 \text{ ㏔}$$

8. 防護柵補修工

1) 塗装塗替え工

(1) 素地調整および塗替え塗装仕様

塗装工程	塗料名	使用量(g/㎡)	塗装間隔	塗装方法	膜厚(μm)	備考
素地調整	3種ケレンA	—	—	—	—	
中塗	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	120	4h以内	ハケ・ローラー	30	
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	110	2日～10日	ハケ・ローラー	25	

(2) 色彩

現状と同様の色彩とし、「白色」とする。

(3) 数量 : 素地調整、中塗、上塗

$$A = 0.412 \times 16.000 \times 2 = 13.2 \text{ ㎡}$$

2) ナット設置工

・規格 : ナット M20(1種)(SS400)

$$N = 1 = 1 \text{ 個}$$

・規格 : ワッシャー M20(SS400)

$$N = 1 = 1 \text{ 個}$$

9. 路面補修工

1) 目地工

- ・適用歩掛 : 目地設置工を準用
- ・規格 : 30m2未満、瀝青質目地板t=20mm

$$A = 0.020 \times 2.000 = 0.040 \text{ m}^2$$

2) 段差擦り付け工

- ・適用歩掛 : 欠損部補修工
- ・規格 : 常温合材、日施工量0.3t未満

$$V = 0.020 \times 0.400 \times \frac{1}{2} \times 2.000 = 0.008 \text{ m}^3$$

$$W = 0.008 \times \frac{2.350}{\text{単質 (t/m}^3\text{)}} = 0.02 \text{ t}$$

10. 仮設工

1) 吊足場工

	足場タイプ	設置幅	設置延長	数量(m ²)	備考
A1-A2	パイプ足場、朝顔 (両側)	2.6	13.3	35	シート張防護工
合計				35	